



ねん じんけん きん 6年 人権フォーラム 1/13 (金)

せいわしょう いいのしょう まきたしょう そうとくちゅう だいひょう めい あつ そうとくちゅうがっこう じんけん
清和小・飯野小・牧田小・創徳中から代表6名ずつが集まり、創徳中学校区の人権
フォーラムが牧田コミュニティセンターで行われました。これは地域の人権課題を明らか
にするとともに、子どもが主体的に自らの体験や考えを発表する「出会い・発見」の場
をつくり、ともに差別をなくそうとする人権尊重の精神を高め合う機会とすることを目的
として行われています。



ことし あんしん
今年のテーマは、「みんなが安心して
しゅうだん
できる集団をつくるために、一人一人
ちが みと
の違いを認めあおう」とし、身近にあ
る事例を取り上げ、意見を交流する
じぶん がっこう いま あんしん しゅうだん
ことで、自分たちの学校は今、安心してできる集団になっているかを振り返りました。清和
しょうだいひょう めい じぶん いけん の
小代表の6名は、自分の意見をしっかりと述べる事ができていました。他校の子たちと
いけんこうりゅう きちよう たいけん
意見交流ができ、貴重な体験となりました。

だいひょう じどう そうとくちゅうがっこう じんけん い あいだ ほか じどう
また、代表の児童が創徳中学校区人権フォーラムに行っている間に、その他の児童で
せいわしょうがっこう じんけん おこな
清和小学校人権フォーラムを行いました。こちらでも同じテーマで意見交流をして、
じぶん じんけんかだい かんが
自分たちの人権課題について考えました。

じんけん とお ねんせい かんが い せいわしょうがっこう あんしん
人権フォーラムを通して6年生が考えたことを生かして、清和小学校が安心して
しゅうだん じっせん でんとう のこ そつぎょう おも
集団となるよう実践して、よき伝統を残して卒業してほしいと思います。

ねん しゃかい むかし どうぐ もく 3年 社会「昔の道具とくらし」 1/26 (木)

むかし どうぐ や それら を つか っていた ころ の 暮らし の ようす を し 知る
ために、三重県地球温暖化防止活動推進員の方たちにたくさん
むかし どうぐ
の昔の道具をもってきていただきました。



しゃしん えいぞう み じつぶつ
写真や映像では見ることはあっても、実物をさわることが
できるのは本当に貴重な体験です。実際に石臼を回して、
だいず こ ろうりょく じかん ひつよう かん
大豆をきな粉にするにはどんなに労力と時間が必要かを感じ
ることができました。今ならミキサーを使えば家庭や工場ですぐ簡単に作れますが、それを
「らくでいいな」で終わらず、ひとびと せいかつ へんか
人々の願いと努力があったことに気づいてもらいたいです。また、便利になった今の生活に
でんき ひつよう
は電気やガスなどのエネルギーがたくさん必要であることから、今の自分たちが願うこと、
どりょく め む
努力することに目を向けさせていきたいです。

ねん いのち たんじょう でまえじゅぎょう きん 4年「命の誕生」出前授業 2/3 (金)

4年生では保健で、体の発達の現象や思春期の体と心の変化を学習します。ここまでの成長を素直に喜ぶ半面、人と比較して現在の自分の体やこれから起こる体の変化について不安を感じることがあります。自分の体の発育を肯定的に受け止め、自分を大切にしていこう、自分の原点である、命の誕生について学ぶ機会を設けました。助産師さんにお越しいただき、妊娠から出産、誕生後について、たくさんの写真を用いたりクイズを交えたりしながら、わかりやすく丁寧に教えていただきました。

助産師さんは、「将来、子どもが欲しいと思うかもしれないし、子どもはいらなと思うかもしれない。どちらにしても、それが選べる体にしておきたい。」と話され、規則正しい睡眠と食事、体を動かして遊ぶこと、体を清潔にすること、プライベートゾーンを大切にすること、過剰な接触を「イヤ」と言えること、予防接種などの大切さを説明してくださいました。



だい かいがっこううんえいきょうぎかい きん 第5回学校運営協議会 1/13 (金)

今回は、主に地域学習の成果と課題、学校支援ボランティアについて協議しました。

ちいきがくしゅう せいにか くだい 地域学習の成果〇と課題●

- 〇地域の歴史については大人でもわかっていないことも多い。地域学習を通して、子どもたちが学ぶことは、地域の歴史を知るよい機会になる。
- 〇戦争のことについては、昨今、平和への意識が弱い傾向がある。世界の情勢でも平和への意識が大切なので、継続していきたい。
- 〇調べ学習をグループでまとめたり話し合ったりすることは、子どもの成長につながるので、可能な形で継続していきたい。
- スケジュール調整や準備のことがあるので、テーマを絞った方がよい。
- 児童が事前学習をしてあると、受け身ではなく参加型の内容になるのではないか。

がっこうしえん 学校支援ボランティア

- ・環境ボランティアは高齢化している。PTA等の手助けが必要。コロナ禍で、PTA各部の活動がほとんどできていないので、環境ボランティアと活動することも検討する。
- ・PTA役員OBで組織する清和同好会が学校と連携して取り組んでいたが、コロナ禍で関係が希薄化。以前のように学校と連携し、要望を伝えてもらったら協力できる。

ほか その他

- ・教員に負担がかかり辞職や病気休暇が多いと新聞記事等で聞く。地域で協力できることや学校運営に参加できることを考えて、学校の負担を減らしていく。
- ・PTAへの啓発等について、PTA家庭教育学級や講演会など研修ができるとよい。